

かなざわ 市議会だより

kanazawa city council

No.272

平成28年(2016年)
11月1日発行



9月16日から19日にかけて行われた金沢JAZZ STREET 2016

目次

- ・ 9月定例会議会の概要等 P.2
- ・ 本会議の発言から P.3～P.12
- ・ 常任委員会の活動状況 P.13
- ・ 審議結果 P.14
- ・ 議員別賛否一覧、意見交換会 P.15
- ・ 編集後記等 P.16

発行／金沢市議会

編集／議会広報委員会

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL (076) 220-2392 FAX (076) 260-7190

〈ホームページ〉

<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/41004/index.html>

平成28年度 金沢市議会 9月定例会月議会の概要

平成28年度金沢市議会9月定例会月議会が、9月6日から21日までの16日間開催されました。

9月6日（議案上程・提案理由説明）

初日6日には、山野市長から、地域経済の活性化に資する経費や市民生活の安全・安心の確保に関する経費の追加を主な内容とする総額19億9,786万7,000円の補正予算案のほか、「金沢市児童福祉法に基づく児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正」案など、議案10件が提案され、市政の概況とともに提出議案の説明が行われました。

この中で市長は、「企業立地や新製品の開発等に対する助成枠を追加するほか、都心軸沿線へのファッション関連店舗の出店等に支援するなど、地域経済の活性化に向けて、なし得る限りの手立てを講じる」と述べました。

9月14日～16日（質疑・一般質問）

14日から16日までの3日間にわたる本会議では、18人の議員が質疑や一般質問を行いました。また、16日には一般会計等決算審査特別委員会及び企業会計決算審査特別委員会が設置され、両委員会に付託された平成27年度決算認定にかかる議案1件及び認定2件は継続審査となりました。

9月20日（委員会審査）

9月20日には、5つの常任委員会が開催され、議案等の審査が行われました。

9月21日（討論・採決）

最終日の9月21日には、討論・採決が行われ、この日追加提案された人事案件を含め、市長提出の議案各件（決算関係の議案を除く）は、全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決または同意されました。議員提出の議会議案10件は7件が可決、3件が否決され、請願2件はいずれも不採択となりました。また、野本正人副議長の辞職に伴い、副議長選挙が行われ、新たに高岩勝人副議長が選出されました。

◎副議長選挙の結果

高岩 勝人 35票 広田 美代 3票

副議長就任あいさつ



議長をしっかりと補佐し、その任務の遂行に全力を注ぎ、金沢市勢の発展に寄与していきます。
(第117代副議長 高岩 勝人)

市長の施政方針（要旨）

◇外国人旅行者の受け入れ体制の強化

本市独自の通訳案内士の養成にあわせ、インターネット上での通訳ガイド人材バンクの開設や、外国人の嗜好に合わせた文化体験プログラムの開発等に新たに取り組む。

◇世界の創造都市との人材交流

ユネスコ創造都市であるフランス・アンギャンレバン市からのアーティストの受け入れに続き、11月からは、本市若手陶芸家を中国・景德鎮市に派遣することとしており、今後とも、世界の創造都市との間の人材交流に積極的に取り組む。

◇定住の促進

首都圏での移住フェアの開催や移住プロモーション動画の制作などを通じて、郊外部における

移住者向けの住宅建築奨励金制度の一層の周知を図っていく。

◇女性活躍社会の実現

男女共同参画推進行動計画の改定作業を進めるほか、日本女性会議の平成30年秋の金沢開催に向けて実行委員会を立ち上げ、今後、具体的なテーマの決定や大会運営方法等の検討を進める。

◇第二庁舎の整備

第二庁舎等建設特別委員会において、本庁舎と第二庁舎を結ぶ上空通路の設置について了承が得られた。その後、景観審議会の建物部会においても基本的な了解を得ることができたので、今後、それらを踏まえて、詳細な実施設計を進める。



本会議の 発言から

9月14日（水）から16日（金）にかけて、18人の議員が質疑や一般質問を行いました。

9月14日（水）

- ・高岩 勝人 議員（自民党） P. 3
- ・麦田 徹 議員（みらい） P. 4
- ・秋島 太 議員（公明党） P. 4
- ・長坂 星児 議員（金沢保守） P. 5
- ・玉野 道 議員（創生かなざわ） P. 5
- ・大桑 初枝 議員（日本共産党） P. 6

9月15日（木）

- ・小阪 栄進 議員（自民党） P. 6
- ・山本 由起子 議員（みらい） P. 7
- ・源野 和清 議員（公明党） P. 7
- ・熊野 盛夫 議員（創生かなざわ） P. 8
- ・広田 美代 議員（日本共産党） P. 8
- ・喜多 浩一 議員（自民党） P. 9

9月16日（金）

- ・小間井 大祐 議員（自民党） P. 9
- ・森 一敏 議員（みらい） P.10
- ・宮崎 雅人 議員（創生かなざわ） P.10
- ・高 誠 議員（自民党） P.11
- ・森尾 嘉昭 議員（日本共産党） P.11
- ・久保 洋子 議員（自民党） P.12

※掲載している内容は、発言した議員本人が作成した原稿をもとにしています。



自由民主党金沢市議員会
高岩 勝人 議員

東アジア文化都市事業と国際工芸サミットについて

問 2018年東アジア文化都市事業の金沢開催及び2020年国際工芸サミットの石川開催について、その具体的な取り組みをどのように行い、どう生かしていくのか。

答 経済界や業界の方々と交えた実行委員会を設置するとともに、文化庁や石川県と連携しながら主体的に準備に取り組んでいく。文化・芸術の分野で東アジアやヨーロッパを含めたユネスコ創造都市の中における金沢市の存在感をしっかりと確立していく。（市長）

新たな交流都市について

問 新たな交流都市として、国外ではパリ・アンギャンレバン市・ミラノ、国内では文京区と目黒区が加わり、市長が掲げた都市構想「世界の交流拠点都市」が実感できるようになってきたが、今後、期待される効果について聞く。

答 さまざまな交流拠点から歴史、伝統、文化など金沢の魅力を発信し、「本物」の金沢の認知度の向上を図りたい。また、これから観光、文化、スポーツなど、いろんな分野での交流が行われることを期待している。（市長）

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 ホストタウンについて
- 2 訪欧について
- 3 東アジア文化都市事業と国際工芸サミットについて
- 4 金沢美術工芸大学について
- 5 新たな交流都市について
- 6 金沢マラソンについて
- 7 野口教育長の教育方針の浸透について



みらい金沢
麦田 徹 議員

ぼい捨て等防止条例について

問 本市のぼい捨て等防止条例は、ポイ捨てだけではなくマナーに重きを置いた包括的な条例となっている。多様な来街者に対し、禁煙だけでなく分煙を進めることも重要と考えるが、今後進められるオリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致において、金沢らしい分煙を強みとしていくことができないか。

答 国内外から多くの人々が訪れる中で、世界的なトレンドである受動喫煙防止という観点からも、金沢らしさにこだわって、積極的に取り組んでいきたい。(市長)

公共の施設（イベントホール）について

問 福井県鯖江市にあるサンドーム福井は、1万人規模のライブイベントが年間10件程度開催され、ことしも有名アーティストが来ている。東京でイベント関係の仕事をしている人からは、会場があれば金沢で開催すると聞いており、アクセスなどの条件を比較しても同等以上と考えられる北部地域において、1万人規模のイベントホールを建設できないか。

答 大規模コンベンション施設については、現在、懇話会を設置し立地等を検討しているところだが、県の既存施設との役割分担等もあり、郊外部において大規模なイベントホールを整備することは考えていない。(市長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 インターナショナルブランドホテルについて
- 2 ぼい捨て等防止条例について
- 3 友好交流都市について
- 4 公共の施設について
- 5 入札制度について
- 6 家庭ごみ有料化について



公明党金沢市議員会
秋島 太 議員

夜間急病診療所移転整備事業について

問 2018年春に金沢駅西福祉健康センターに移転整備される小児科の夜間急病診療所については、子育て拠点としての役割も担うことになるが、子育て拠点としての機能強化について聞く。

答 2階にある子ども広場の拡張を初め、八日市保育所に設置している幼児相談室を移転整備し、石川中央都市圏における子育て拠点施設として機能の充実を図る。(市長)



金沢駅西福祉健康センターのこども広場

避難所の暑さ対策について

問 夏場の災害時における体育館での避難生活は、被災者にとって暑さや不安で体力的にも精神的にも大変な生活を余儀なくされる。学校体育館にエアコンを設置する際、交付税措置されるがそれを活用してエアコンを設置する考えはないか。

答 熊本地震の際は、場所によってレンタルのエアコンが活用されたことから、今後、国や他都市の動向を見ながら避難所の暑さ対策のあり方についてしっかりと研究する。(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 夜間急病診療所移転整備事業について
- 2 介護予防・日常生活支援総合事業について
- 3 全世代・全対象型地域包括支援について
- 4 本市における特別支援学級と通級指導教室について
- 5 非耐震部材の耐震対策と危険箇所への対策について
- 6 プログラミング教育について
- 7 金沢マラソンについて



金沢保守議員会
長坂 星児 議員

文化創生新戦略2020について

問 文化創生新戦略2020に掲げる国際的な文化事業の開催市に選定されたのは、金沢クラフトの振興など、本市の地道な取り組みが要因にあるが、金沢クラフトのシンボルとして2018年までに整備される予定の金沢クラフトスタジオについて、その整備計画を聞く。

答 金沢クラフトスタジオは金沢の幅広い工芸と若手工芸作家を発信する拠点として、その機能を金沢・クラフト広坂に担わせることとし、金沢クラフトのシンボリックな役割を果たすよう機能を充実させる。
(市長)

本多町歴史文化ゾーンについて

問 本多町歴史文化ゾーンの回遊性等を高めるため、まちづくり基金を活用して石川郷友会館を取得したとのことだが、取得に際しての根拠が乏しく感じる。取得に至る経緯について説明を求めるとともに、本多町歴史文化ゾーンの今後の整備方針について聞く。

答 石川郷友会館については、かねてよりその必要性を認識してきた。民間所有のため、慎重な対応が必要とされてきたが、今回、条件が整ったので文化関連施設用地として取得した。本多町歴史文化ゾーンについては、歴史資産を活用した回遊性の向上と質の高い散策空間を整備することで、本市の魅力をさらに高めていきたい。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 文化創生新戦略2020について
- 2 本多町歴史文化ゾーンについて
- 3 重点戦略計画について



創生かなざわ
玉野 道 議員

「集約都市形成計画」と都市農業に関して

問 都市農業の現状は、市街化区域内農地の宅地並み課税や都市計画税の負担増等、現行の農地制度・税制のままでは営農を続けることは困難な状況にある。都市農業の税制と課題を踏まえ、いかに都市政策との連携、調和を実現させていくのか。また、都市農業の振興に向け、都市農業振興計画の策定が有効と考えるが、いかがか。

答 都市農業振興基本法が成立し、法の中で必要な税制措置等を政府に求めていることは承知しているが、市街化区域農地は、現在のところ原則宅地並みの評価とされていることから、今後の国の動向を注意深く見守っていきたい。
(総務局長)

国は、明年度、都市農業の多様な機能の発揮に向けて全国的な課題の調査等を計画していることから、国の動向や他都市の状況を注視しながら、都市農業の振興計画について研究していく。
(農林局長)

マイナンバー制度の導入と電子自治体の構築に関して

問 ことし、社会保障・税番号制度——マイナンバー制度が開始され、来年7月から地方公共団体や医療保険者などの情報連携の開始が予定されている。電子自治体構築に関する本市の取り組みの現状と課題について聞く。

答 本市では、マイナンバーの情報連携に向けたシステムの運用を初め、セキュリティー対策の強化やオープンデータの推進に取り組んできた。さまざまな課題を見据え、今後も国の指針、新しい技術動向を踏まえ、電子自治体の取り組みをさらに進めていく。
(細田副市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 「集約都市形成計画」と都市農業に関して
- 2 マイナンバー制度の導入と電子自治体の構築に関して



日本共産党金沢市議員団
大桑 初枝 議員

憲法と安保法制について

問 安倍政権は自民党改憲案をベースにした憲法改正に意欲を見せている。安保法制のもと、自衛隊が危険な場所に送り出されようとするなら、それにストップをかけることこそ市長としてやらなければならないことではないか。

答 安保法制は、国権の最高機関で唯一の立法機関である国会によって決められたことであり、憲法違反ではないかという指摘には違和感を持つ。また、平和維持のために活動する自衛隊員が安心して誇りを持って任務に当たることができる環境をつくっていくのが市長の責務である。
(市長)

駅西インターナショナルブランドホテル建設 予定地の土壌汚染について

問 オリックスに売却予定の用地に土壌汚染が確認された。この用地は旧国鉄の機関庫だったという経緯を踏まえると、過去に汚染した原因があると考えられるのではないか。そうであれば責任と費用負担を鉄道・運輸機構に求めるべきであるが、今後の対策について聞く。

答 補正予算が成立すれば、その後、優先交渉権者と協議の上、本市の負担で土壌汚染対策法に基づく措置を行う。負担の扱いなどについては、今後の調査結果を踏まえて対応を検討していく。
(都市政策局長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 憲法と安保法制について
- 2 第2次金沢交通戦略について
- 3 駅西広場隣接地へのインターナショナルブランドホテルの誘致について
- 4 金沢美術工芸大学について



自由民主党金沢市議員会
小阪 栄進 議員

学校給食費の徴収について

問 学校給食費の徴収業務は、各学校ごとに行っているが、授業の準備や生徒指導など教員が本務に専念できる環境づくりを推進していく観点から、徴収業務を教育委員会に移管できないか。

答 徴収業務を教育委員会に移管した自治体では、教職員の負担軽減や会計業務の透明性が図られたとの報告もあることから、今後、実施自治体の状況を調査した上で、学校給食費の公会計化について検討していきたい。
(教育長)

本市遺族連合会の現状と活動について

問 遺族連合会の会員数は減少の一途をたどり、遺族の平均年齢は80歳と高齢になっている。遺族連合会の活動に対し、遺族の高齢化・減少化を考慮した適切な助成や支援ができないか。また、小学校や公民館などの敷地内に建てられている忠魂碑はどのように管理されているのか。

答 遺族連合会の会員数減少及び高齢化による活動の厳しさは承知している。今後の戦没者の慰霊のあり方も含めて、市として何をしなければいけないのか、しっかりと思いを受けとめて研究していきたい。忠魂碑については、神社などにあるものと同様、各地区の方々によって管理や周知が行われており、市としても機会を捉まえてその意義を市民や子どもたちに伝えていきたい。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 鳥獣による農作物被害と防止・駆除について
- 2 学校における運動部活動について
- 3 学校給食費の徴収方法について
- 4 本市遺族連合会の現状と活動について
- 5 水素を活用した環境都市づくりについて



みらい金沢
山本 由起子 議員

もっと積極的な平和施策の推進を

問 秋田市や七尾市などでは、平和都市宣言に基づき、市が主体となって戦争体験を風化させず平和意識を醸成するための施策を展開している。本市も平和都市宣言に基づき、もっと積極的な平和施策を推進すべきではないか。

答 他都市の例を参考にして取り組んでいきたい。姉妹都市、友好交流都市など海外の都市同士の交流を実務的に行っていくことも大切であり、そのことを多くの市民に知ってもらう努力もしていかななくてはならないと考えている。(市長)

学力調査対策の過去問指導の実態を調べよ

問 4月に文部科学省から全国学力・学習状況調査の適切な取り組みについてという通知が出された。本市において、全国学力・学習状況調査の趣旨・目的を逸脱する実態があるかどうかを調べるべきではないか。

答 各学校の実態は、学力向上対策係による学校訪問などで把握している。数値データの上昇のみを目的とする行き過ぎた過去問の活用はないと認識しているが、2学期以降も全ての学校を訪問し、授業がしっかり展開されているか、また、児童・生徒の理解定着を促進する機会を狭めていないか、把握に努めていきたい。

(教育長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 子どもの貧困について
- 2 平和行政について
- 3 日本語教室について
- 4 全国学力・学習状況調査の適切な取り組みについて



公明党金沢市議員会
源野 和清 議員

保育利用支援員の拡充について

問 子ども・子育て支援新制度において、国の義務づけで、基礎自治体に保育利用支援員の配置を求めており、国の待機児童解消加速化プランでも、保育コンシェルジュの設置促進として、利用者の視点に立った機能強化の推進が定められている。本市では、年度途中の入所への相談件数がふえていることから、担当の交代要員や応対できる時間帯をふやすなど利用者の視点に立った保育利用支援員の人員体制が必要と考えるが、本市の考えを聞く。

答 相談件数の増加や相談内容の多様化、複雑化に伴い、相談者の待ち時間が延びていることから、今後の職員配置等について対応を検討する。(市長)

寡婦控除のみなし適用について

問 みなし適用の対象は、自治体により保育料、私立幼稚園就園奨励費補助金、就学援助などさまざまであるが、本市ではひとり親家庭等自立促進計画の中で課題の検討を行い、全てのひとり親における子育て支援の制度上の差を解消していくことが望ましいと考えるが、本市の考えを聞く。

答 非婚のひとり親家庭の状況を詳細に分析するなど実態把握に努めるほか、他都市の状況も調査し、保育料など個別の福祉サービスごとにどのような影響や効果があるかを調べるところから始めたい。

(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 子育て施策について
- 2 ひとり親家庭の支援制度について
- 3 雇用施策について



創生かなざわ
熊野 盛夫 議員

有料化しないでごみ減量に成功した名古屋市に学ぶべきでは

問 平成 11 年 2 月にごみ非常事態宣言を出して、市民との協働作業でごみ減量化に取り組んだ名古屋市は、平成 26 年度には、ごみ処理量の約 4 割削減、また、ごみ処理費用の大幅な削減に成功している。そして今後も有料化の予定はないという。金沢市も学ぶべきではないか。

答 家庭ごみ有料化の説明会においても、具体的な都市の事例を挙げて意見をもらうこともある。さまざまな都市の事例も参考にしながら、これからのごみ処理対策に取り組んでいく。
(市長)

金沢港と隣接地域の整備と活性化について

問 金沢港とその周辺を市民が行きやすい場所、行きたくなる場所、親しみやすい場所にしていく必要がある。その観点で、金沢港と金沢駅はもちろんのこと、歴史、文化、食文化資源を有する金石、大野、大徳地区と、どのような交通網で結ぶかが重要であり、細やかな計画が必要ではないか。

答 第 2 次金沢交通戦略において、金沢港から金沢駅、まちなかへのアクセス機能の向上を図るとともに、金沢港の交通結節機能を強化することとしており、隣接地域との回遊性の向上についても今後研究していく。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 家庭ごみ有料化の説明会
- 2 大徳地区の防災上の課題と、第 3 小学校の早期建設の重要性について
- 3 金沢港と隣接地域の整備と活性化について
- 4 公共施設のトイレについて
- 5 第二庁舎の上空通路について



日本共産党金沢市議員団
広田 美代 議員

高すぎる国民健康保険料を下げるべきでないか

問 平成 25 年度から計算方式を変更し、多人数世帯や障がい者控除、寡婦控除を受けていた方々の保険料が引き上げられた。滞納世帯もふえ、差し押さえ件数も平成 24 年度から 3 倍以上ふえている。しかし、国保会計は黒字で、基金は約 14 億 5,000 万円も残っていることから、高過ぎる保険料を下げて、市民が払える保険料にすべきだと思うが、いかがか。

答 保険料については、激変緩和措置や基金の活用による保険料率の引き下げで、中低所得者の負担軽減を図ったところであり、新たな軽減策を行うことは中間所得者層の負担増につながり、適切ではないと考えている。
(市長)

保育士の配置基準の見直しについて

問 本市は、関係者との協議で設けた独自の保育士配置基準を、国の規制緩和に伴い、今回引き下げるとしているが、子どもの安全や保育士の労働環境は守れるのか。また、国における保育士不足を打開するための処遇改善と保育士の配置基準は実態に見合わないことから、拡充するよう求めるべきではないか。

答 保育士の労働環境を維持するために、引き続き週 40 時間対応保育士を配置する施設に対する市単独の補助制度を設けたところである。保育士の処遇改善については国の動向を注視し、国の配置基準については全国市長会を通じ、見直しを働きかけていく。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 国民健康保険について
- 2 保育施策について
- 3 学校規模適正化について



自由民主党金沢市議員会
喜多 浩一 議員

東京オリンピック・パラリンピックの
事前合宿誘致について

問 丸口副市長がパリのフランス水泳連盟を訪問し、すでに前向きな回答を得ているとはいえ、フランス側の決断を後押しするためには、市長のトップセールスが必要であると考え、欧州訪問における、市長の意気込みを聞く。

答 国のホストタウンの認定を受けているところであり、訪問したときに、受け入れ態勢等をしっかりと伝え、前向きな言葉をもらえればと期待している。
(市長)



2017年4月に供用開始予定の金沢プール

次期新学習指導要領におけるプログラミング
教育導入について

問 小学校からプログラミング教育を実施していく上で、指導体制の充実、ICT環境の整備などが課題になると予想されるが、どう対処していくのか。

答 基礎的知識の習得に向けた教員の研修、タブレット端末、無線LAN等の環境整備、先端的に研究を進めている大学との連携が必要になってくると考えている。
(教育長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 国際交流の推進と欧州訪問における金沢発信について
- 2 新学習指導要領への対応について



自由民主党金沢市議員会
小間井 大祐 議員

市民生活向上のためには本市職員の育成や成長が鍵となるが、研修を含めた本市の「人材」投資の状況は

問 市民生活の向上や目指す都市像実現に向けて、市政運営を担う市職員の育成という「人材」への投資に力を入れ、意欲と能力を最大限に発揮できる組織と制度の構築が必要だと考える。年々削減される研修費だが、本市の職員育成についての状況と今後の考えを聞く。

答 育児休業から復帰した職員を対象に新たに開始したワーク・ライフ・バランス研修や、新任主査級職員を対象とした政策形成能力強化研修等を実施している。研修内容にさらに磨きをかけ取り組んでいく。
(市長)

グローバル化を地域社会の活力にしっかりと結びつけていくための組織体制や人材育成が必要では

問 グローバルな視点で考え、ローカル——地域で行動する「グローバル人材」が自治体にも不可欠である。交流のための国際事業ではなく、金沢市をよくするために世界の都市の政策や制度を学び、市政に反映していく組織の構築と人材育成が必要だと考えるが、いかがか。

答 金沢は世界に視座を置いたまちづくりが必要であり、海外都市の施策で応用できるものは政策的視点からも取り入れていくための組織改革を進めている。海外出張などには若手職員を積極的に派遣し、学んでもらっており、今後とも金沢市全体の財産としていきたい。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 市職員の人材戦略・人材育成について
これからの時代に求められる職員像 / 職員研修の予算推移と実施状況 / 第3期人材育成実行計画 / 地域課題を解決するための自学支援 / 各セクションに必要なグローバル職員 / 官民人材交流



みらい金沢
森 一敏 議員

津久井やまゆり園事件^(※)が投げかけているもの

問 社会全体で問題の根源を見つめ直さねばならない。本市としても個人の尊厳を軽視し、命の価値に優劣をつける誤った考えが潜んでいないか、障害のある人を社会から切り離すような施策になっていないか、あらゆる施策領域での検証を求めたいが、市長の考えを聞く。

答 私たち自身も無意識にそうした考えの側に立っていないかという謙虚な思いを持たなければいけない。施策を遂行していくに当たっては、自問自答しながら、職員ともその思いを改めて共有して取り組んでいく。 (市長)

(※) 平成28年7月に神奈川県相模原市の障害者福祉施設で発生した殺傷事件。19人が死亡した。

地域包括ケアシステムについて

問 地域では、善隣館や地区社会福祉協議会経営のデイサービスセンターの跡地利用や資金調達など、持続可能な仕組みをどうつくるのかという課題に向き合っている。地域の創意ある自発的な活動を本市がいかなるパートナーシップを結んで支えていくのか、市長の所見を聞く。

答 地域と市が、適切な役割分担のもとに地域包括ケアシステムの構築を進める中で、地域の好事例などを知ってもらうことや援助技術の助言なども行っていくことが必要である。さらには、官民協働で自主財源確保のあり方を研究することも含めて、持続可能な制度となるよう支援を進めていきたい。 (市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 津久井やまゆり園事件が投げかけているもの
- 2 地域包括ケアシステムについて
- 3 児童虐待防止への対応について、長女のやけどで父親が逮捕された事件に関して
- 4 市民のつづやきから、かなざわ BookBank モデル事業に一考を



創生かなざわ
宮崎 雅人 議員

金沢港の振興策について

問 金沢港と金沢駅周辺までの時間的距離はそう遠くはなく、観光資源も豊富なことを生かしながら、さらなる誘客拡大を目指すべきと考えるが、いかがか。

答 来年、金沢港に寄港するクルーズ船が大幅にふえることから、今後とも県や交通事業者等の関係機関と連携し、円滑な受け入れが確保できるように体制を整えていく。また、金沢港と金沢駅とのアクセスの向上を図るため、必要となるシャトルバスの台数を確保していきたい。 (市長)



金沢港に寄港したクルーズ船

防災事業について

問 民間が所有する災害時協力井戸の数と現況調査の実施状況及びかなざわ災害時等協力事業所の登録数について聞く。

答 災害時協力井戸は、現在 206 カ所登録されており、8月までに今年度実施予定の 40 カ所の点検を終えて、現在は水質検査の準備を行っている。また、人材や物品、施設の提供などの分野で協力してもらえる災害時等協力事業所は、現在 381 事業所が登録されている。 (危機管理監)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 港の振興策について
- 2 防災事業について
- 3 駅西地区の再整備について



自由民主党金沢市議員会
高 誠 議員

認知症対策について

問 認知症やその疑いで行方不明になるケースが毎年増加している。校下や町会、民間等と連携することも含め、本市の取り組みを聞く。

答 みつけてネットに事前登録してもらい、地域包括支援センターから地区民生委員等へ不明者の情報提供を依頼することとしている。また、本市と独自協定を結ぶコープいしかわやセブンイレブンにも、配送中や市内各店舗からの情報提供をお願いするなど、早期発見に努めている。(市長)

金沢マラソン2016について

問 第2回金沢マラソンの成功が今後継続していくための鍵を握る。ゲストラナーに期待する効果と沿道応援者に対する取り組みを聞く。

答 五輪や世界陸上出場という一流選手の参加でランナーの高揚感を高め、全体のブランド力向上を図る。沿道応援者には、昨年比4倍となる12,000本のスティックバルーンのほか、紙メガホンやカラー手袋を配布し、よりにぎやかな沿道応援を期待したい。(市長)



金沢マラソン2015の様子

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 認知症対策について
- 2 2016リオオリンピック・パラリンピック開催を振り返り
- 3 スポーツ施設について
- 4 金沢マラソン2016について



日本共産党金沢市議員団
森尾 嘉昭 議員

議会棟と上空通路建設を中止し、第二庁舎建設計画の見直しを図れ

問 これまで地下通路設置の案で議論を進めてきたが、基本設計と実施設計の段階を迎え、上空通路設置に変更された。これまで説明してきたことを大きく変更することになり、第二庁舎建設計画そのもののやり直しが必要ではないか。市長の見解を聞く。

答 議会の特別委員会において、議論が行われ、上空通路という形で取りまとめがなされた。その方向で実施設計を進めていきたい。(市長)



本庁舎と第二庁舎を結ぶ上空通路のイメージ図

家庭ごみ有料化ではなく、市民参加でごみ減量化を

問 ごみ処理経費が年間40億円に上り、ごみ処理経費を少なくして将来に備えるために家庭ごみの有料化が必要だと述べる一方で、ごみ焼却による売電収入が年間約9億円に上ることには触れようとしていないが、この活用について聞く。

答 売電収入については、ごみ処理経費の一部に充てている。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 議会棟と上空通路建設を中止し、第二庁舎建設計画の見直しを図れ
- 2 家庭ごみ有料化ではなく、市民参加でごみ減量化を
- 3 公共事業のあり方と入札、検査、工事成績評点について



自由民主党金沢市議員会
久保 洋子 議員

高齢者福祉認知症施策について

問 高齢化により認知症の方の増加が課題となる。認知症地域支援推進員の人員体制の充実と認知症オレンジカフェの質の向上を図るための取り組みについて聞く。

答 認知症の方の増加が見込まれるため、認知症地域支援推進員の人員体制の拡充を検討していく必要がある。認知症地域支援推進員の部会を定期的に開催し、圏域ごとの取り組み状況の情報交換や課題を共有する場を設け、カフェの運営に反映している。 (市長)

身体障害者補助犬法の理解と啓発促進について

問 身体障害者補助犬法に基づき、補助犬について積極的に社会に理解を広げる取り組みを求める。また、教育現場に学習の場を設けるべきと考えるが、教育長の所見を聞く。

答 市のホームページで補助犬を紹介するほか、イベント等に補助犬を伴った障害者を招くことなどにより積極的な周知を図りたい。 (市長)

補助犬を含め、障害者への理解を深める教育は大切であると考え。 (教育長)



傍聴席に向かう介助犬使用者

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 高齢者福祉認知症施策について
- 2 協働のまちづくり事業について
- 3 家庭ごみ分別等視覚障害者対応について
- 4 身体障害者補助犬法の理解と啓発促進について

議会の傍聴について

議会の傍聴は、議会の活動に触れるための身近な方法であり、どなたでも傍聴することができます。また、聴覚に障害のある方のために、手話やパソコンによる要約筆記を利用した傍聴も行っています。(事前の申し込みが必要です。)

本会議の傍聴の受付は、本会議当日に市役所本庁舎7階の議場傍聴席入口で行っています。(要約筆記申し込み連絡先 076-220-2388)

所属会派の変更

中川俊一議員及び小阪栄進議員は、8月31日付で自由民主党金沢市議員会の所属となりました。この変更に伴う会派等の構成は以下のとおりです。

- 自由民主党金沢市議員会 18人
- みらい金沢 5人
- 公明党金沢市議員会 4人
- 金沢保守議員会 3人
- 創生かなざわ 3人
- 日本共産党金沢市議員団 3人
- (無会派)
- 市政刷新金沢 2人

委員会構成

9月定例会議会において、決算審査特別委員会が設置されました。

◇一般会計等決算審査特別委員会(定数8)

【委員長】 久保 洋子 **【副委員長】** 坂本 泰広
【委員】 上田 雅大、松井 隆、熊野 盛夫
小阪 栄進、小林 誠、森尾 嘉昭

◇企業会計決算審査特別委員会(定数8)

【委員長】 下沢 広伸 **【副委員長】** 小間井大祐
【委員】 中川 俊一、大桑 初枝、山本由起子
森 一敏、秋島 太、宮崎 雅人

また、下記の委員会において、委員構成に変更がありました。

委員会名	選任	辞任
議会運営委員会	久保 洋子	前 誠一
文化振興・スポーツ振興特別委員会	中川 俊一 野本 正人	高岩 勝人
議会広報委員会	-	中川 俊一

常任委員会の活動状況

金沢市議会では5つの常任委員会を設けています。定例月議会中には提出された議案の審査を行うほか、定例月議会が開かれていないときも、市政についての課題や市の計画、事業内容を調査しています。

委員会名	開催日	主な報告事項
総務常任委員会	8月17日	・金沢大学工学部跡地について ・石川郷友会館の取得について
	9月20日	・東京国立近代美術館工芸館の移転について ・人事行政の運営等の状況の公表について
経済環境常任委員会	7月12日	・山の日創設記念「金沢森林フェスタ」の開催について ・平成27年度公共用水域水質常時監視結果
	9月20日	・目黒区との友好交流都市協定の締結に向けた覚書締結について ・土壌汚染対策法に基づく土壌汚染区域の指定について
市民福祉常任委員会	8月8日	・金沢市障害者基幹相談支援センターの開設について ・飲食店等に対する受動喫煙防止対策アンケート調査の結果について
	9月20日	・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）及び軽費老人ホーム（ケアハウス）開設事業者の選定結果について ・急病センター（仮称）整備に関する進捗状況について
建設企業常任委員会	7月11日	・「木町一番丁地区」まちづくり協定の締結について ・企業局「夏休み子ども教室」～施設見学と実験～及び「出前講座」の実施について
	9月20日	・金沢市集約都市形成計画骨子（案）について パブリックコメントでのご意見の概要と金沢市の考え方 ・神田交差地下道（安原 ^{こどうきょう} 跨道橋）の完成について～新幹線側道整備事業（金沢駅以西）～
文教消防常任委員会	8月22日	・金沢くらしの博物館リニューアルオープンについて ・平成28年度市民防災訓練の実施について
	9月20日	・金沢マラソン2016交通規制に関する周知について ・新たな学校規模適正化に向けた方針に係る通学区域審議会からの答申について

各常任委員会では、議会活動の一層の充実を図り、本市のまちづくりに役立てるため、他都市への行政視察を行っています。今年度は、以下のとおり行われました。

委員会名	視察日	視察市	視察項目
総務常任委員会	7月19日 }	盛岡市	・公共施設アセットマネジメントについて
	7月21日	秋田市	・秋田公立美術大学について ・国際交流マスタープラン2016について
経済環境常任委員会	8月22日 }	福山市	・福山市都市ブランド戦略について
		福山市内	・鞆の浦史跡めぐりガイドについて（鞆の浦観光情報センター）
		下関市	・鳥獣被害とジビエの活用について
		広島市	・ごみの減量化について
市民福祉常任委員会	7月26日 }	仙台市	・市民協働の取り組みについて
		苫小牧市	・苫小牧市の認知症施策について
		札幌市	・さっぽろ地域ポイント「まちのわ」について ・介護サポートポイント事業について
建設企業常任委員会	8月3日 }	大阪市内	・都市ガス事業の小売自由化対策について（大阪ガス株式会社）
		旭川市	・北彩都あさひかわ整備事業について
		札幌市	・札幌市下水道科学館について
文教消防常任委員会	7月19日 }	札幌市	・資生館小学校について
		函館市	・函館アリーナについて
		青森市	・アートで音楽のあるまちづくりについて ・ねぶたの家 W・ラッセについて

平成28年度 9月定例月議会 審議結果

賛否などの態度が分かれた議案等については、議員別賛否一覧をご覧ください。

※審議結果は、金沢市議会ホームページからもご覧になれます。

議案番号	件名	本会議の結果	
------	----	--------	--

◇市長提出（議案12件）

議案第21号	平成28年度金沢市一般会計補正予算（第2号）	可決	賛成多数
議案第22号	平成28年度金沢市営地方競馬事業費特別会計補正予算（第1号）	可決	全会一致
議案第23号	金沢市児童福祉法に基づく児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	全会一致
議案第24号	金沢市地区計画等の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部改正について	可決	全会一致
議案第25号	金沢市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決	全会一致
議案第26号	工事請負契約の締結について（大浦千木町線金腐川橋梁新設工事（右岸下部工））	可決	全会一致
議案第27号	財産の取得について（河川用地）	可決	全会一致
議案第28号	財産の取得について（金沢プール計時機器）	可決	全会一致
議案第29号	市道の路線認定について	可決	全会一致
議案第30号	市道の路線廃止について	可決	全会一致
議案第32号	金沢市教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて 岡能久氏 丸山章子氏	同意	全会一致
議案第33号	金沢市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めるについて 橋田満氏	同意	全会一致

◇議員提出（10件）

議会議案第9号	北朝鮮による核実験の実施及び弾道ミサイル等の発射に断固抗議する決議	可決	全会一致
議会議案第10号	介護保険料負担年齢の引き下げ方針の撤回を求める意見書	否決	賛成少数
議会議案第11号	共謀罪の立法化に反対する意見書	否決	賛成少数
議会議案第12号	所有者を確認できない土地、家屋の管理の徹底を求める意見書	否決	賛成少数
議会議案第13号	チーム学校推進法の早期制定等を求める意見書	可決	賛成多数
議会議案第14号	子ども・若者の健全育成に係る法整備を求める意見書	可決	賛成多数
議会議案第15号	地域の実情に即した都市農業の振興等を求める意見書	可決	全会一致
議会議案第16号	子どもの貧困対策の推進と強化を求める意見書	可決	全会一致
議会議案第17号	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	全会一致
議会議案第18号	奨学金制度の拡充等を求める意見書	可決	全会一致

※可決された決議及び意見書は、金沢市議会ホームページでご覧になれます。

◇請願（2件）

請願第20号	マクロ経済スライドの実施の中止を求める請願	不採択	賛成少数
請願第21号	年金積立金を危険な株式に運用することの中止を求める請願	不採択	賛成少数

※請願第17号「共通投票所設置等に関する請願」及び陳情第5号「家庭ごみの収集を有料化せず、市民と行政の共同によってごみの減量と資源化を推進していくことを求める陳情」は継続審査となりました。

第二庁舎等建設特別委員会が 要望書を提出

第二庁舎等の建設に関する調査を行っている第二庁舎等建設特別委員会は、実施設計に反映できるよう、9月1日に要望書を高村佳伸委員長から山野市長に提出しました。なお、特別委員会における調査は引き続き行われます。

(要望書の内容)

1. 連絡通路

(1) 本庁舎との連絡通路については、上空通路方式にて検討を進めること。なお、上空通路の検討に当たっては、本市のこれまでの景観政策を考慮し、周辺の景観や環境、樹木などに配慮したデザイン及び色彩を採用すること。また、通路内部の意匠等に工夫を凝らすほか、建設費の削減にも留意すること。

2. その他

- (1) エントランスについては、多くの市民が交流できるような明るく開放的な空間とするともに、議会の来賓等の送迎に支障のないよう配慮すること。
- (2) 議会関係部分への出入りなどのセキュリティについては、平日・夜間・休日を問わず十分な機能を保持すること。
- (3) 議会関係部分における設備や配置等の検討に際しては、円滑な議会運営に資するよう他都市の設備等も参考に、議会事務局と十分な調整を行うこと。

編集後記

皆様いかがお過ごしでしょうか。本紙が皆様のお手元に届く頃には季節もすっかり秋の装いへとさま変わりしていることと存じますが、今年の夏は、猛暑と相次ぐ台風に見舞われる一方で、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍に日本中が歓喜したものでした。本市議会だよりで掲載されている9月定例会議の論戦においても4年後の東京オリンピックを見据えた質問が多く見られたように感じます。議会の積極的な発信が求められている今日、市民の皆様に市議会だよりを通じて、これまで以上に議会の活動の内容をお届けできるよう努めてまいります。

(委員 宮崎雅人、長坂星児)

本会議の詳しい内容は、市役所の市政情報コーナー・図書館に備えつけの会議録、または金沢市議会のホームページでご覧いただけます。(9月定例会議の会議録の公開は12月上旬を予定しています。)

次の定例会議は、12月5日(月)から開かれる予定です。(日程は変更することがあります。)

議会日誌

7月

- 11日 建設企業常任委員会
12日 経済環境常任委員会、議会広報委員会
22日 文化振興・スポーツ振興特別委員会
25日 連携中枢都市圏・都市交通特別委員会、意見交換会

8月

- 8日 市民福祉常任委員会、議会運営委員会
9日 連携中枢都市圏・都市交通特別委員会
10日 第二庁舎等建設特別委員会
17日 総務常任委員会、議会広報委員会
22日 文教消防常任委員会
29日 第二庁舎等建設特別委員会
30日 議会運営委員会

9月

- 1日 連携中枢都市圏・都市交通特別委員会
2日 議会運営委員会
6日 **金沢市議会9月定例会議初日**
本会議【議案上程・提案理由説明】
議会広報委員会
8日 議会運営委員会
13日 議会運営委員会
14日 本会議【質疑・一般質問】
15日 本会議【質疑・一般質問】
16日 本会議【質疑・一般質問】
議会運営委員会、一般会計等決算審査特別委員会、企業会計決算審査特別委員会
20日 各常任委員会、議会運営委員会
21日 本会議【討論・採決】
議会運営委員会
金沢市議会9月定例会議最終日

議会広報委員会

【委員長】久保 洋子

【副委員長】秋島 太

【委員】小間井大祐 松井 隆 広田 美代
長坂 星児 宮崎 雅人